

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第31週[8月2日～8月8日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：手足口病

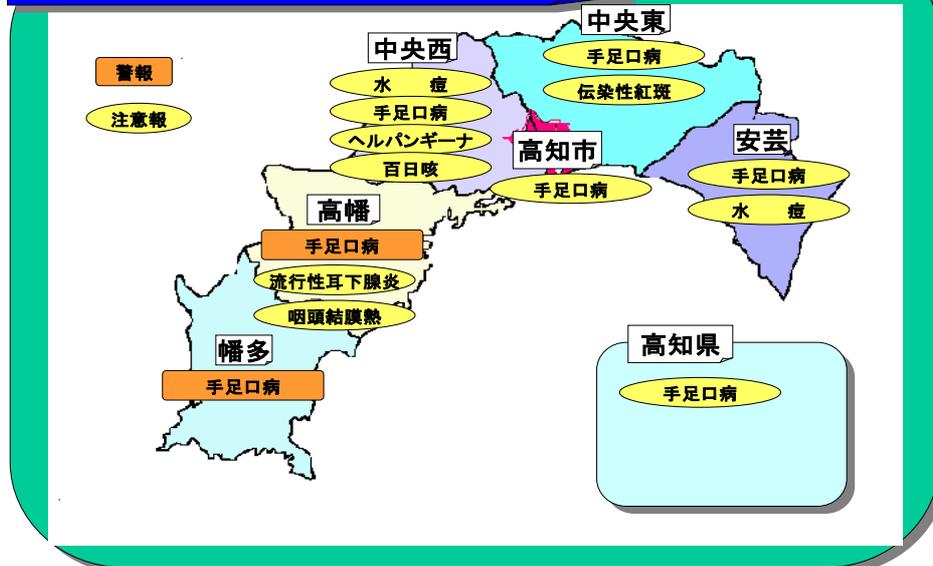
- ・ 今週は殆どの疾患が軒並み減少し、総数も前週比69%と大幅に減少した。
- ・ 手足口病（幡多：警報→警報，高幡：警報→警報，安芸：警報→注意報，中央西：注意報→注意報，中央東：注意報→注意報，高知市：警報→注意報）はまだ例年より報告数は多いものの順調に減少しており、6月初旬からでていた警報発令もようやく注意報にかわった。
- ・ 水痘（中央西：注意報→注意報，安芸：注意報）は前々週並みに減少した。
- ・ 流行性耳下腺炎と咽頭結膜熱が高幡で注意報値を超している。
- ・ 伝染性紅斑（中央東：注意報）が中央医療圏で大幅に増加している。

上位疾患構成図



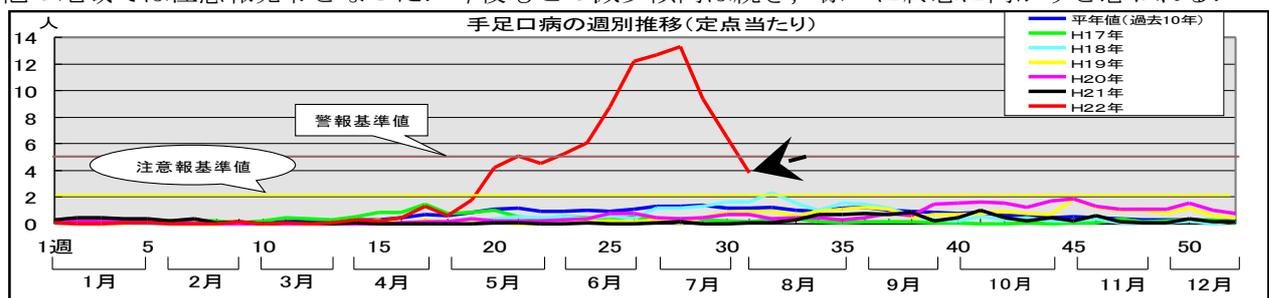
## 地域別感染症注意報・警報発生状況

第31報 (2010年8月2日～2010年8月8日)



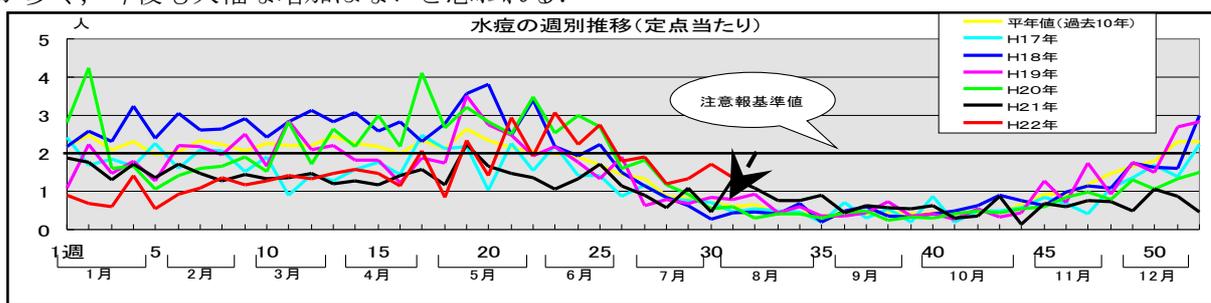
### 手足口病：今週3.87 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

第28週をピークに急激な減少が続いている。幡多，高幡ではまだ警報値を超える流行が続いているが，他の地域では注意報発令となった。今後もこの減少傾向は続き，徐々に終息に向かうと思われる。



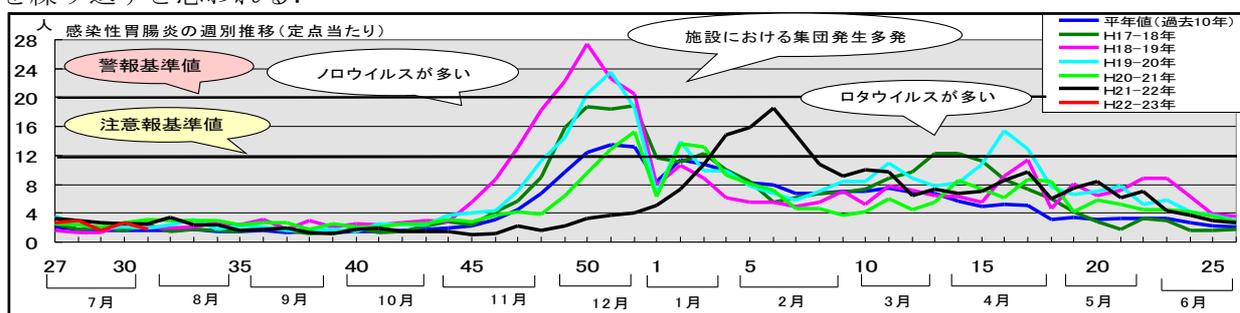
**水痘：今週1.37（注意報値：2.00 警報値：4.00）**

例年よりやや多い報告数で増減を繰り返しているが、この時期から11月頃まで低レベルで推移する年が多く、今後も大幅な増加はないと思われる。



**感染性胃腸炎：今週2.67（注意報値：10.0 警報値：20.0）**

例年この時期から報告数50～100名前後で推移しており、11月初旬頃まではこのレベルで増減を繰り返すと思われる。



○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
31	マイコプラズマ肺炎	5歳男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
31	肺炎	6歳男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
29	咽頭結膜熱	1歳女	高幡	<i>Adenovirus 2</i>
31	感染性胃腸炎	1歳男	中央東	<i>Rotavirus A群</i>

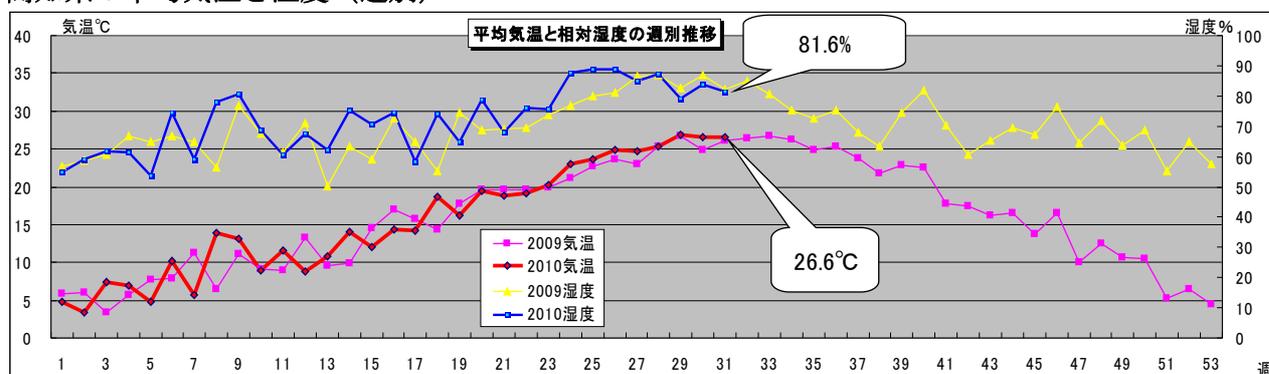
○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 5例（86歳女，67歳男）《高知市》（86歳女）《安芸》（32歳女）《中央東》（101歳男）《幡多》（今年95例）

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 4例（12，33歳男）《高知市》（21歳男女）《中央東》（今年7例）

5類感染症：破傷風 1例（89歳男）《高知市》（今年1例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 2例（2歳男，5歳女）  
ヘルペス性歯肉口内炎 2例（2例男，6歳女）

#### 高幡：

《もりはた小児科》：手足口病の発生が続くも減少傾向  
帯状疱疹 1例（2歳女）

#### 中央西：

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（9ヵ月女）は県外から帰省

#### 高知市：

《福井小児科・内科》：マイコプラズマ肺炎 2例（5歳男，6歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス扁桃炎 2例（2歳男，1歳女）  
病原性大腸菌（0-1） 1例（8歳男）

《町田病院》：流行性角結膜炎の1例（50歳代男）はアデノウイルス(+)

#### 中央東：

《あけぼの小児クリニック》：百日咳 1例（39歳女：東浜株640倍，山口株320倍）

《早明浦病院小児科》：再び伝染性紅斑雑多

《吉本小児科皮膚科》：咽頭結膜熱の2例（4歳男，5歳女）はアデノウイルス

### 全国情報第29週（7/12～7/18）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

3類感染症：結核245例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症97例（有症者66例、うちHUS 2例、死亡1例）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎4例、デング熱4例、日本紅斑熱2例、マラリア2例、レジオネラ症27例

5類感染症：アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群14例（AIDS 6例、無症候7例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒6例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、麻しん5例

他に2010年第28週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、オウム病1例、デング熱2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例などの報告があった。

#### ◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型（EV71）は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年に入ってから例年より早い時期に検出されており、第28週までに高知県67件、鳥取県34件、大阪府28件、大分県25件、和歌山県22件、広島県19件、愛媛県16件、愛知県14件、山形県13件、栃木県、奈良県各12件、兵庫県9件、島根県8件、香川県7件など西日本を中心に32府県から340件の検出が報告されている。このうち、手足口病患者から277件、無菌性髄膜炎患者から12件、ヘルパンギーナ患者から6件が検出されている。EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス（CA）16型13件（山形県10件、神奈川県2件、愛媛県1件）、CA6型21件（神奈川県8件、秋田県、富山県各6件、栃木県1件）、CA4型9件（神奈川県、大阪府各3件、奈良県、和歌山県、福岡県各1件）、CA5型3件（島根県2件、高知県1件）、CA2型1件（高知県）などが報告されている。

#### ◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～29週までの検出総数は284件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生からO111（VT1）が7件、第22週に兵庫県の飲食店での集団発生からO157が3件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者、第16週に静岡県でベトナムへの渡航者、第22週に千葉県で韓国への渡航者各1例からO157が検出されている。2010年1～7月にO157が33都道府県から177件、O26が20府県から58件、その他の血清型が18都道府県から53件（このうち、O91が9道府県から12件、O111が4県から10件）報告されている。

#### ◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。直近の2010年第25～29週の5週間ではAH1pdmが8都道府県から20件（奈良県8件、兵庫県3件、東京都、神奈川県、香川県各2件、茨城県、大阪府、広島県各1件）、AH3亜型が5県から6件（香川県2件、千葉県、高知県、福岡県、沖縄県各1件）、B型はビクトリア系統株が広島県から2件、系統不明株が2県から5件（沖縄県4件、茨城県1件）報告されている。AH1pdm（20件）は分離・検出例全体（33件）の61%を占めている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(30週)	高知県(31週末累計) H22/1/4~H22/8/8	全国(30週末累計) H22/1/4~H22/8/1
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ									112 ( 0.02)	2,546 ( 53.04)	223,658 ( 46.81)
小児科	咽頭結膜熱		3	3	1	2		9 ( 0.30)	4 ( 0.13)	882 ( 0.29)	84 ( 2.80)	20,846 ( 6.88)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	8	1	1		12 ( 0.40)	26 ( 0.87)	2,089 ( 0.69)	705 ( 23.50)	128,007 ( 42.22)
	感染性胃腸炎	2	7	20	12	2	12	55 ( 1.83)	80 ( 2.67)	9,009 ( 2.98)	7,002 ( 233.40)	772,032 ( 254.63)
	水痘	4	5	17	10	1	4	41 ( 1.37)	51 ( 1.70)	3,041 ( 1.00)	1,414 ( 47.13)	158,359 ( 52.23)
	手足口病	7	22	34	10	11	32	116 ( 3.87)	194 ( 6.47)	8,836 ( 2.92)	2,921 ( 97.37)	106,416 ( 35.10)
	伝染性紅斑		9	5	1			15 ( 0.50)	4 ( 0.13)	980 ( 0.32)	150 ( 5.00)	27,093 ( 8.94)
	突発性発疹		3	8			2	13 ( 0.43)	13 ( 0.43)	1,951 ( 0.64)	375 ( 12.50)	51,338 ( 16.93)
	百日咳				2			2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	114 ( 0.04)	44 ( 1.47)	3,381 ( 1.12)
	ヘルパンギーナ	1	3	3	7		2	16 ( 0.53)	28 ( 0.93)	11,792 ( 3.89)	891 ( 29.70)	106,061 ( 34.98)
	流行性耳下腺炎			1			3	5 ( 0.17)	10 ( 0.33)	4,399 ( 1.45)	156 ( 5.20)	104,361 ( 34.42)
	RSウイルス感染症									173 ( 0.06)	760 ( 25.33)	45,732 ( 15.08)
	眼科	急性出血性結膜炎									15 ( 0.02)	2 ( 0.67)
流行性角結膜炎				2				2 ( 0.67)	2 ( 0.67)	531 ( 0.78)	42 ( 14.00)	11,416 ( 16.84)
基幹	細菌性髄膜炎								2 ( 0.67)	12 ( 0.03)	9 ( 1.29)	270 ( 0.58)
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14)	1 ( 0.14)	25 ( 0.05)	14 ( 2.00)	438 ( 0.95)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14)	1 ( 0.14)	169 ( 0.37)	45 ( 6.43)	5,245 ( 11.35)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 ( 0.14)	2 ( 0.29)	18 ( 0.04)	19 ( 2.71)	316 ( 0.68)
計 (小児科定点当たり人数)	14 ( 7.00)	54 ( 7.71)	104 ( 9.00)	44 ( 14.67)	20 ( 10.00)	53 ( 10.60)	289 ( 9.47)					
前週 (小児科定点当たり人数)	24 ( 12.00)	84 ( 12.00)	181 ( 15.73)	37 ( 12.33)	29 ( 14.50)	64 ( 12.80)		419 ( 13.70)	44,148	17,179 ( 536.44)	1,765,336	

注 ( ) は定点当たり人数。

定点当たり

第31週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(30週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.02
小児科	咽頭結膜熱		0.43	0.27	0.33	1.00		0.30	0.13	0.29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	0.73	0.33	0.50		0.40	0.87	0.69
	感染性胃腸炎	1.00	1.00	1.82	4.00	1.00	2.40	1.83	2.67	2.98
	水痘	2.00	0.71	1.55	3.33	0.50	0.80	1.37	1.70	1.00
	手足口病	3.50	3.14	3.09	3.33	5.50	6.40	3.87	6.47	2.92
	伝染性紅斑		1.29	0.45	0.33			0.50	0.13	0.32
	突発性発疹		0.43	0.73			0.40	0.43	0.43	0.64
	百日咳				0.67			0.07	0.03	0.04
	ヘルパンギーナ	0.50	0.43	0.27	2.33		0.40	0.53	0.93	3.89
	流行性耳下腺炎			0.09			1.50	0.17	0.33	1.45
	RSウイルス感染症									0.06
	眼科	急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎				2.00				0.67	0.67	0.78
基幹	細菌性髄膜炎								0.67	0.03
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14	0.14	0.05
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14	0.37
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14	0.29	0.04
計 (小児科定点当たり人数)	7.00	7.71	9.00	14.67	10.00	10.60	9.47			
前週 (小児科定点当たり人数)	12.00	12.00	15.73	12.33	14.50	12.80		13.70		

## 2010年週報推移(定点当たり)

